

北軽井沢の山荘の庭に車を止めたところ、ボディーに一匹の小さなホタルがとまっていました。夜になると発光する昆虫としてホタルであることはすぐに分かりましたが、日本にはゲンジボタルやヘイケボタルをはじめ、外見のよく似た種類も多く、この個体だけでは私には種名まで判断できませんでした。前胸背の鮮やかな桃色と、つやのある黒い上翅の組み合わせが印象的でしたが、それだけで確実な同定を行うのは難しいものでした。

ちょうどその時、山荘にいられていた昆虫に詳しい露木和男先生に実物をご覧いただいたところ、即答で「これはヒメボタルですね」と教えていただきました。ヒメボタルは日本各地の森林に生息する小型のホタルで、ゲンジボタルやヘイケボタルのような水辺ではなく、落ち葉の積もる林床を生活の場とする陸生の種類です。幼虫も陸上でカタツムリなどの小さな陸産貝類を捕食して成長し、成虫は初夏から盛夏にかけて活動します。

ヒメボタルは夜になると短い間隔で鋭く点滅する独特の発光を繰り返し、その光跡が一斉に明滅する様子は「天然のイルミネーション」とも呼ばれます。北軽井沢のような豊かな森林環境では、こうした陸生ホタルが今も生息できる自然が残されていることを示す貴重な存在でもあります。何気なく車に舞い降りた一匹のホタルでしたが、専門家による確かな同定のおかげで、その正体がヒメボタルであることが分かり、身近な出会いが地域の豊かな自然を実感させてくれる印象深い観察となりました。

(2026 年 8 月上旬／北軽井沢)

